

# 十勝川中流部市民協働会議\_活動記録 (12)

## 帯広川右岸被災箇所における播種後のモニタリング調査

- 日 時：平成 29 年 9 月 21 (木) 8:55~15:20
- 参加者：帯広工業高等学校 環境土木科 2 年生 (40 名)  
帯広河川事務所 4 名  
十勝川中流部市民協働会議 10 名
- 活動内容 (1)：植物調査についての講義
- 活動内容 (2)：植物調査
- 活動内容 (3)：植物調査結果の整理と発表
- 場 所：帯広川右岸下流部 L=320m



### 活動 (1) . 植物調査について (植物専門家：佐藤氏)

1 教時目、植物調査を行う前の準備として、植物専門家の佐藤氏を講師に招き、植物調査の方法と植物の見分け方等について説明して頂きました。



事務局の室瀬氏と植物専門家の佐藤氏



授業風景



調査方法を説明する室瀬氏

## 活動（２）．現地での植物調査

植物調査は、各班が担当する範囲から代表する方形区（10m×10m）を選び植被率（％）を調べ、さらにその方形区内に1m×1mの方形区を2か所設け、春に播種したクサヨシの実生を数えて発芽本数を確認しました。調査は生徒を5班に分け、各班に十中協のメンバーをリーダーとして配置しました。



各班に分かれた生徒



各班に配置したリーダー



リーダーと生徒との打合せの様子

作業は、各班が担当する範囲内にある 10m 毎の見出し杭を復元した後（各班の担当範囲平均 50m程）、その範囲から 10m×10m の方形区を 1 つ選び、その方形区内で植被率の求め方を佐藤氏から教わりました。



方形区の復元作業



佐藤氏からの説明風景

生徒は、各班の方形区で植被率を目視で調査し、求めた植被率を班内で相談して、班としての植被率を決定します。



植被率を調査している様子



求めた植被率を班内で相談し、班としての植被率を決めている様子

午後からは、1m×1mの方形区で、春季に播種した「クサヨシ」の実生を数えました。また、方形区内で確認したクサヨシ以外の植物の種名について勉強しました。



調査方法の説明風景



1m×1mの方形区



ルーペを使いクサヨシを同定している様子



よく似た植物の中からクサヨシを同定している様子

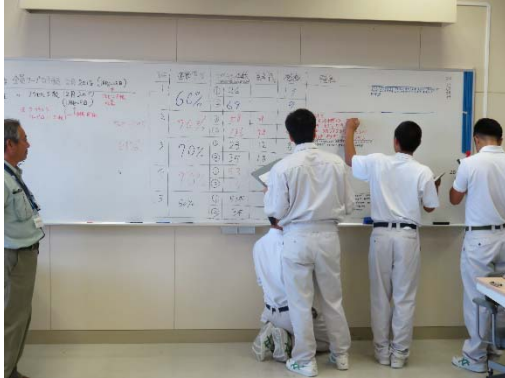
春季にクサヨシの他に播種したコスモスが満開になっていました。



春季に播種したコスモス

### 活動 (3) . 植物調査結果の整理と発表

現地調査後、学校で調査結果の整理と各班からの発表を行いました。内容は各班が調査した方形区（10m×10m）内の植被率と、方形区（1m×1m）内のクサヨシの発芽本数のほかその際に確認したクサヨシ以外の植物の種類数です。



調査結果を書き出す生徒の様子

班	植被率%	クサヨシ 発芽本数	クサヨシ 種類数	種類	
1	60%	① 26	73	19	
		② 69	35	9	
2	70%	① 58	9	14	クサヨシ以外の植物の種類数 200本/㎡以内のクサヨシの発芽本数 クサヨシ以外の植物の種類数 クサヨシ以外の植物の種類数
		② 186	73	4	
3	70%	① 23	12	8	
		② 35	18	6	
4	70%	① 53	27	12	
		② 14	7	11	
5	50%	① 51本	26	17	クサヨシ以外の植物の種類数 クサヨシ以外の植物の種類数 クサヨシ以外の植物の種類数 クサヨシ以外の植物の種類数
		② 3本	1.5	18	

調査結果

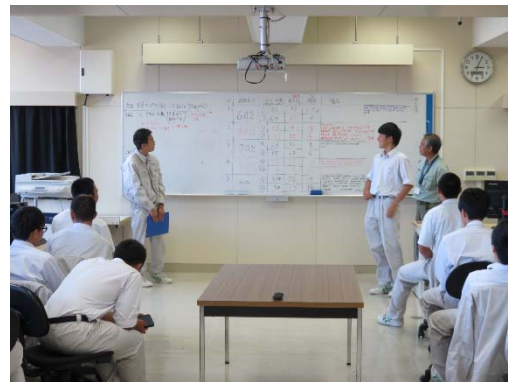
調査の結果、10m×10mの方形区内の植被率は平均 64 %でした。

播種したクサヨシは発芽本数が 200 本／m<sup>2</sup> の種子でしたが、実際に調査した結果は平均 52 本／m<sup>2</sup> で、場所により偏りがありますが、多いところで「186 本／m<sup>2</sup>」、少ないところで「3 本／m<sup>2</sup>」でした。

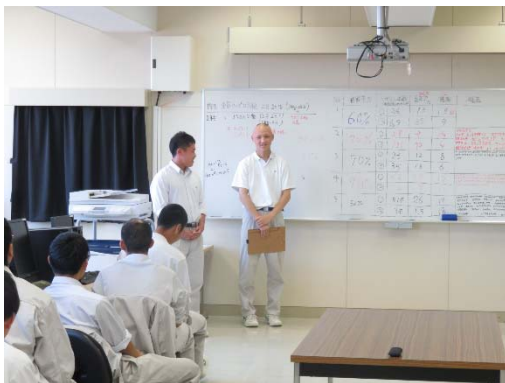
【発表の様子】



(1 班)



(2 班)



(3 班)



(4 班)



(5班)



クラス代表からのお礼挨拶の風景